



「確かな学力」を育むための取り組み

校長 大根田 裕一

2学期が始まり、一ヶ月がたちました。9月2日よりラスコンデス地区等では、規制緩和措置の第3段階になり、休日も外出ができるようになります。このまま、感染が収まることを祈るばかりです。学校所在地区のロバルネチェアは第2段階のままであるので、現時点では、わたしたち教員は3密を避けるために、基本的には在宅勤務とし、交代で出勤することにしています。



私は、出勤した際には、まず校舎内、校庭を一回りするにしています。すると、校庭に植えてあるアーモンドの花が満開になっていることに気づきました。その他の花もきれいに咲いており、春の訪れを感じます。学校の草木は子どもたちが登校できる日を待ち望んでいるようです。わたしたち教員も登校再開に向けて準備を進めています。

さて、本校の教育目標は「確かな学力と豊かな心、健やかな体をもった子どもの育成」です。オンライン授業が続く中でも、わたしたち教員はこの目標を達成するために、全力で取り組まなければなりません。この中の「確かな学力」を育むために以下の取り組みをしています。

「確かな学力」とは、基礎的・基本的な「知識・技能」に加え、これからの子どもたちに必要な「学ぶ意欲」や「思考力・判断力・表現力」を含めた幅広い学力のことをいいます。

知識を詰め込むだけの教育ではなく、子どもたちが得た知識をその後の人生で生かしていけるような教育が学校に求められています。なぜなら、予想ができないような激しい変化が訪れるこれからの社会においては、学校で得た知識のみでは限界があるからです。そのため、学校を卒業して社会人になってからも、生涯に渡って学び続ける必要があるのです。

本校では、この「学ぶ意欲」の向上のために次の2つのことに重点を置いています。一つめは「わかった、できた」という達成感を味わわせることです。授業中の発言を記録したり、ノートやプリントを写真で送ってもらいその都度確認したりして、一人一人の学習状況を把握します。そして、それぞれの個にあったアドバイスをメールやチャットを使ってアドバイスをするなど、オンライン授業ならではの取り組みをしています。二つめは、学習の中から子どもたちと一緒に「知りたいな、なぜだろう」という新たな課題を生み出すことです。これが学び続けることにつながっていくのです。そのために、知的好奇心をくすぐるような資料を用意し授業に取り組んでいます。

保護者の皆様、関係者の皆様、本校の取り組みにご理解いただき、今後ともご支援いただけますようよろしくお願いいたします。



9月の予定



○9月 6日 (日) 0:00 夏時間へ変更

※7日 (月) からの授業開始時間に注意してください。

○9月 11日 (金) 全校朝会 8:10~

特別授業 コロハカランダ … 中止



○9月 15日 (火) 中学部中間テスト

○9月 18日 (金) 独立記念日 祝日のため授業はありません。

○9月 25日 (金) 全校朝会 8:10~



○9月 26日 (土) ディエシオチョ祭 … 中止

PTA 奉仕作業 … 畑作業のみ実施

状況によっては中止する場合があります。

日にちが近づきましたら改めて連絡いたします。

○9月 28日 (月) ディエシオチョ祭の振替休業日でしたが、中止のため授業日とします。